

(中学2年)

中学 技術・家庭科(家庭分野)授業シラバス(総合進学コース)

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
技術・家庭	家庭分野	2年	必修	30	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する (教育図書)	なし

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
--------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	衣生活 1. 衣服の働き 2. 目的に合わせた自分らしい 着 装 3. 製作に向けて ・ 手縫い ・ ミシンの取り扱い	衣生活 1. エプロン制作実習 2. トートバッグ(裏地付き)の 制作実習 3. 刺しゅう	衣生活 1. 衣服の計画的な活用 2. 衣服の選択と購入 3. 衣服の手入れ
備考		※ 考査なし、実習のみで評価	

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	定期考査(配点の約70%) パフォーマンス評価 (実習課題など)	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・ 観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・ 各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・ 観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 ＝4：4：2
	思考・判断・表現	定期考査(配点の約30%) パフォーマンス評価 (実習課題、提出物、発表など)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価 (実習課題、提出物、発表など)及び出欠席		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C 3段階		

* 技術・家庭として、評価は技術と併合して行う。

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

中学 技術・家庭科(家庭分野)授業シラバス(Sコース)

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
技術・家庭	家庭分野	2年	必修	30	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する (教育図書)	なし

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
--------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	衣生活 1. 衣服の働き 2. 目的に合わせた自分らしい 着 装 3. 製作に向けて ・手縫い ・ミシンの取り扱い	衣生活 1. トートバッグ(裏地付き)の 制作実習 2. 刺しゅう 3. 衣服の計画的な活用 4. 衣服の選択と購入 5. 衣服の手入れ	消費生活・環境 1. 私たちの消費生活・契約 2. 販売・支払い方法 3. 消費者トラブル 4. 消費者の権利と責任 5. エシカル消費
備考		※ 考査なし、実習のみで評価	

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	定期考査(配点の約 70%) パフォーマンス評価 (実習課題など)	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 ＝ 5 : 3 : 2
	思考・判断・表現	定期考査(配点の約 30%) パフォーマンス評価 (実習課題，提出物，発表など)		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価 (実習課題，提出物，発表など) 及び出欠席		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C 3段階		

* 技術・家庭として、評価は技術と併合して行う。

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。